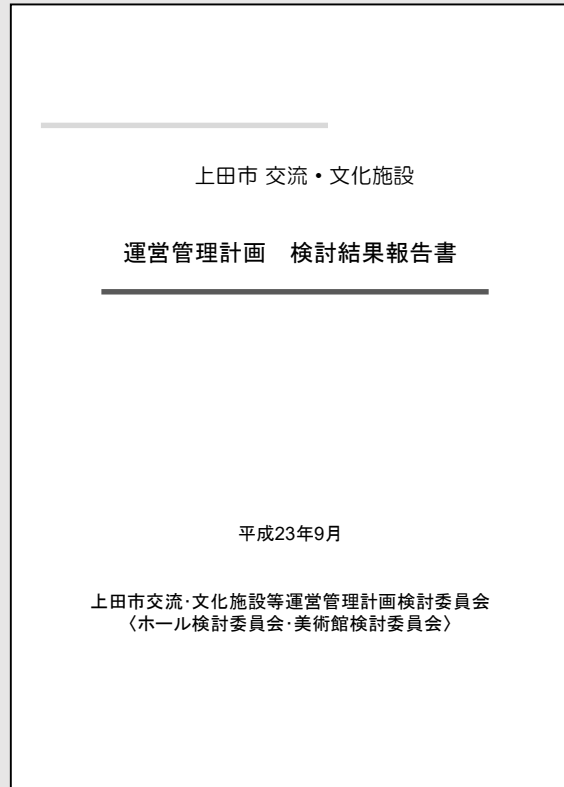


上田市交流・文化施設 運営管理計画
(H23.9)



基本理念 「人にやさしい 夢と未来を紡ぐ 創造都市うえだ」の実現

基本理念の根底にあるものは『育成』

文化芸術が育つことは、すなわち「人」が育つということ、とくに次世代を担う子どもたちを、良質な文化的な生活環境のなかで心身ともに健やかに育てていく必要があります。

「人」が育つことは「まち」が育つことへとつながる

「鑑賞」「創作・発表」「交流」を通じた様々な育成の取組みが、市民による歴史ある伝統文化の継承や、新たな文化の創造を促し、醸成された地域文化を形成するとともに、まちの賑わいや活力を生み出す拠点として、魅力あふれるまちづくりへの架け橋となります。

文化創造の側面

都市創造の側面

理念に基づく目標 “ひと” “文化” “まち” “施設” の4つの育成に取り組む。

ひとを育む

子ども向け事業を活動の中心に。
これまでの上田に少なかった様々な公演。
質の高い芸術に気軽に触れ合える環境づくり。
参加体験型の幅広いメニューを提供。
個性、コミュニケーション、お互いの価値観を認め合える人づくりを目指す。

文化を育む

公演を通じ先人が築いた文化に光を当て、次の世代につなげる。全国に向けて発信する。
日々進化する芸術の世界を積極的に紹介。
市民が発表し、上田が発信地になるよう共に歩みます。
市内文化団体の活動を積極的に支援。

まちを育む

既にある文化施設と協力、館外活動も積極的に行い、地域全体の発展を目指す。
全国大会やフェスティバルなど、集客力ある事業を呼び込む。
まち全体を意識した事業を展開し、地域を活性化します。
新たな上田ならではの文化を創造・発信し、“文化の薫るまち”を全国にアピールします。

施設を育む

市民と共に歩む施設をめざします。
ホール、美術館の連携を図り、交複合施設としての特徴を活かします。

目標を達成する手段（事業展開のイメージ）

鑑賞

創作・発表

交流

子ども育成事業

文化・芸術鑑賞事業

参加・体験型事業

地域文化醸成事業

交流・地域活性化事業

施設運営支援事業

総合的事業

音楽家等とのふれあい・交流

教育との連携

魅力的な公演

オーケストラ等との提携

興行利用の推進

ワークショップ

アウトリーチ

気軽に鑑賞できるコンサート

市民文化の支援と貸館

運営スタッフの育成

市民参加の推進

事業運営 実施計画

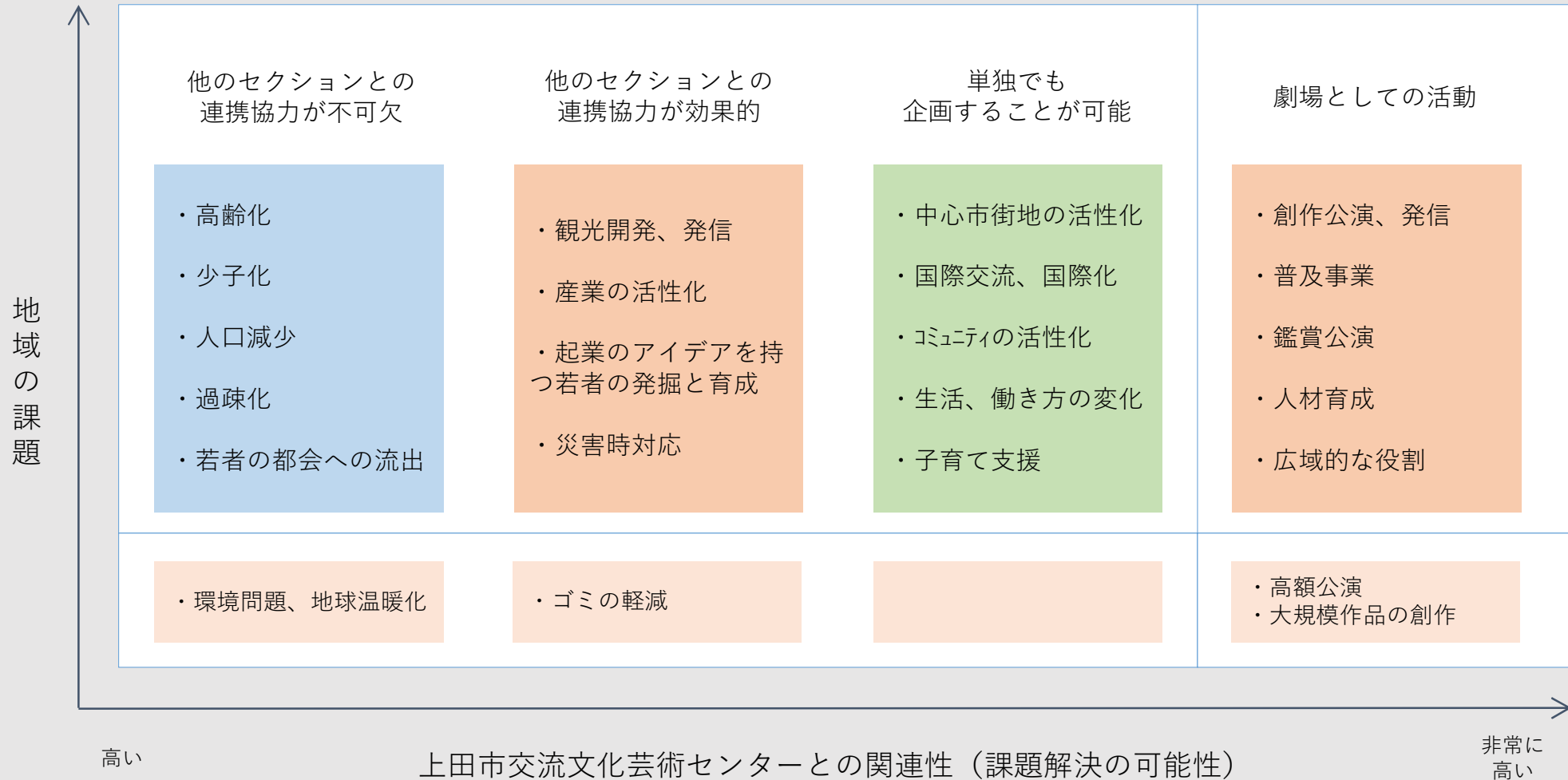
重要課題の特定 ① ～ 地域課題の把握と整理 ～

地域の課題の把握

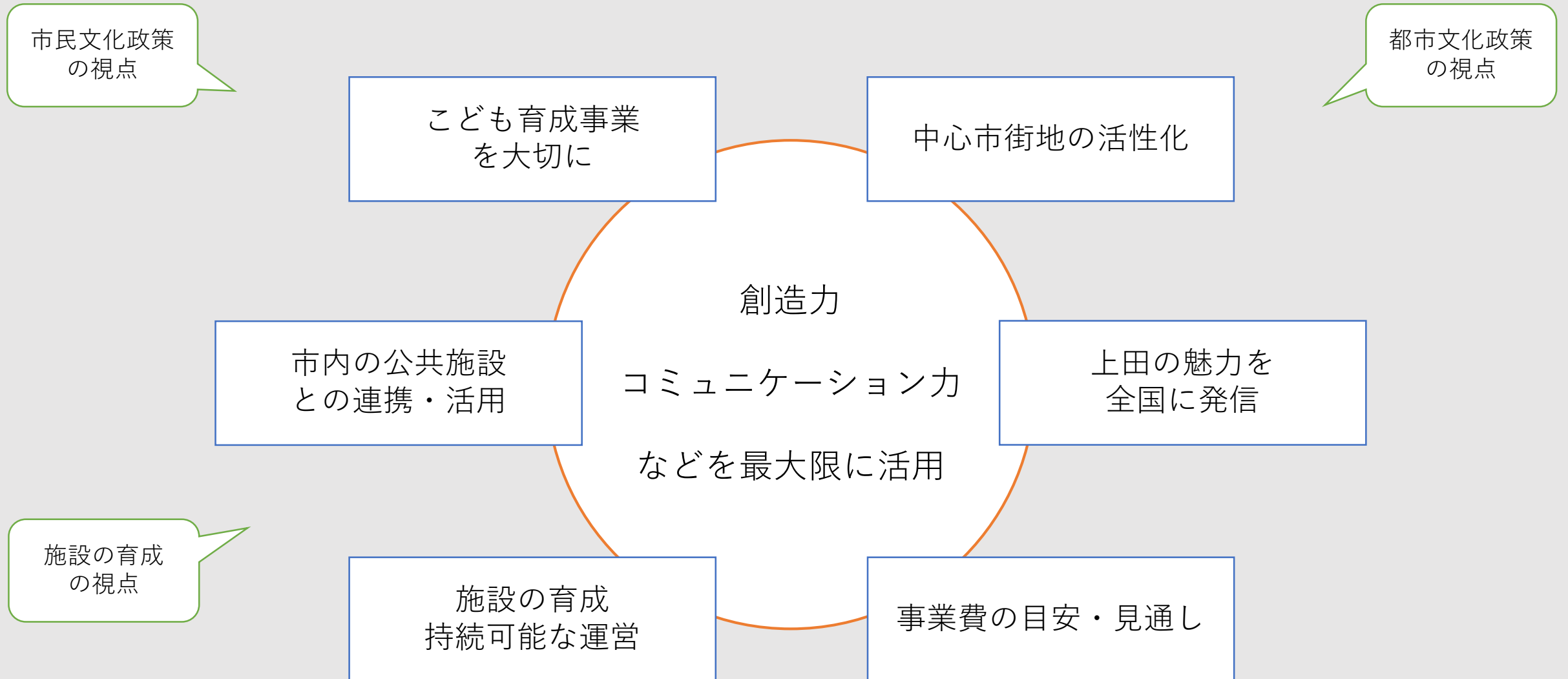
- ・ 観光開発、発信
- ・ 産業の活性化
- ・ 起業のアイデアを持つ若者の発掘と育成
- ・ 中心市街地の活性化
- ・ 環境問題、地球温暖化
- ・ 国際交流、国際化
- ・ ゴミの軽減
- ・ コミュニティの活性化
- ・ 生活、働き方の変化
- ・ 子育て支援
- ・ 災害時対応
- ・ 高齢化
- ・ 少子化
- ・ 人口減少
- ・ 過疎化
- ・ 若者の都会への流出

重要課題の特定 ① ～ 地域課題の把握と整理 ～

上田市交流文化芸術センターとの関連性



重要課題の特定 ② ～ 上田市の文化政策からの視点 ～ (当時)



重要課題の特定 ③ ～ 地域の特徴を調査 ～

長野県 = 教育県のイメージ → アウトリーチ受け入れに積極的な学校が多く、公民館活動も活発。

中心市街地 → 空店舗が多くシャッター商店街の寸前。でも、危機感を持った若者達はある。

観光 → 温泉 や 信州の鎌倉、菅平など、上田城・真田以外にも観光資源は沢山ある。
でも、市民の観光への意識は とても低い。

県内の公共ホール → 活発なホールは少なく、助成金獲得の可能性は高いと分析。

枠組み・手段・キーワード との 合致をイメージ

鑑賞

創作

ふれあい
交流

アウトリーチ

ワークショップ

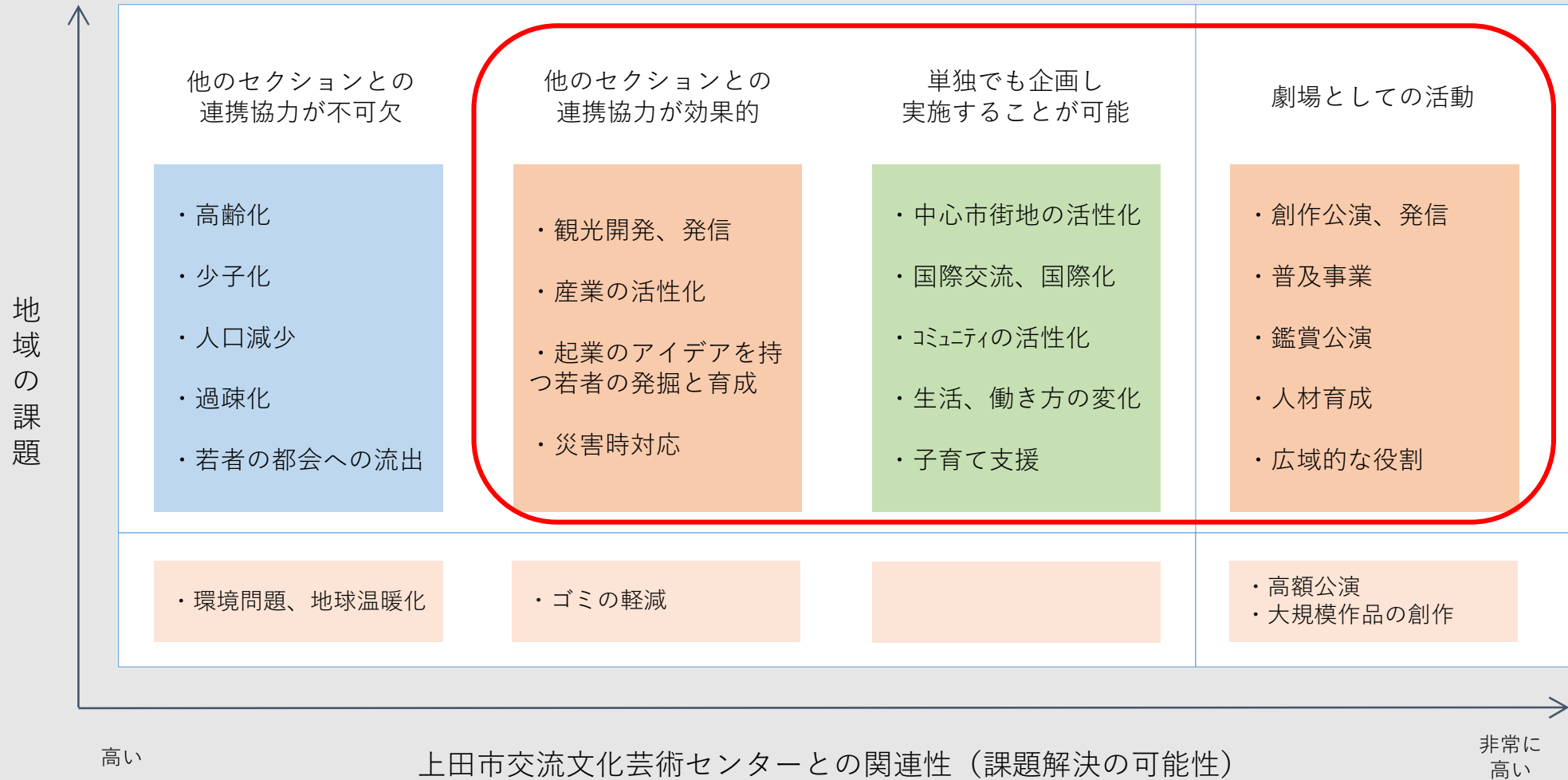
気軽な
コンサート

学校との連携

公民館など
との連携

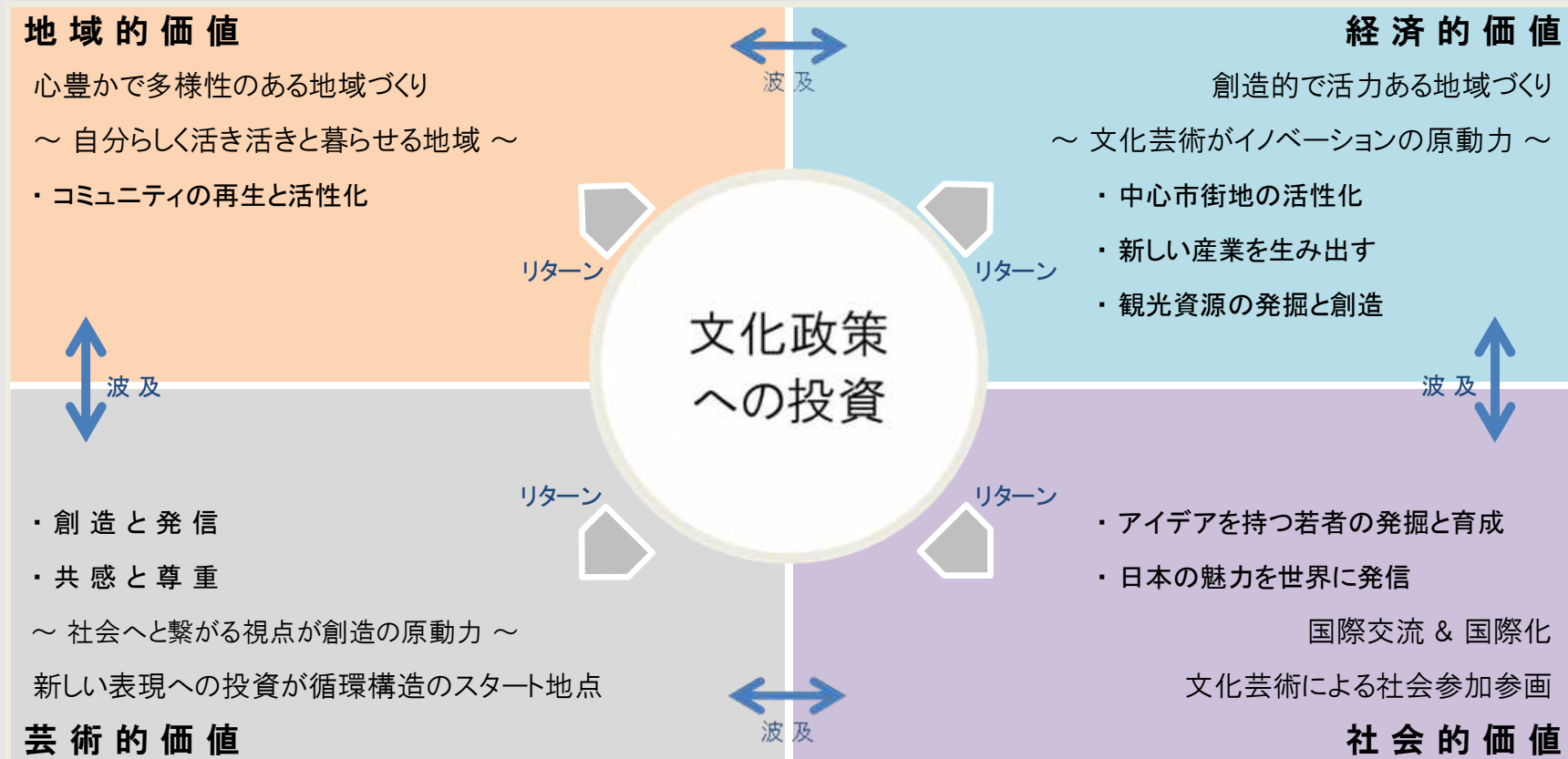
市民参加

重要課題の特定 ④ ～活動領域の絞り込み～



事業運営 ～実施計画の方向性～

文化政策への投資が
大きなリターンとなって社会に還元される。



事業リスクの把握（開館当時）

市内・広域の状況

- ① 自主事業の実績がない 以前の市民会館での自主事業の実績は 市政周年記念の無料公演程度。
有料公演への理解が得られるのか どうかは不透明。
- ② エリア人口 大ホール1500席に対して 上田市の人口は約15万人、エリア人口でも約20万人。
“大学進学・就職は市外・県外”というケースが多い。市内の大学は理系（繊維学部）。
- ③ 広報 市内・県内の情報誌は少ない。 公演の広告は 新聞・TVCM がメインになる

県内の状況

- ① 県内ホールの状況 松本市：串田監督、音楽祭 軽井沢：音楽ホール 長野市：上田の翌年に新規オープン
その他：県内では 夏の音楽祭 が多いが、クラシック音楽ファンは多くない。
自主事業を行っているホールは多いが エンターテイメント系の公演が多い。
- ② 公演の分野 クラシック音楽、オーケストラ、音楽祭は多いが、演劇、バレエ、ダンスの公演は少ない。

事業運営 ～二つの柱の設定～

1. 芸術家ふれあい事業

役割を重視した活動

滞在型のふれあい活動 & 創作活動

- ・ クラシック音楽 (国内ソリスト)
- ・ 演劇 (小劇場系)
- ・ コンテンポラリーダンス (国内ダンサー)

2. 連携・提携

大ホールの活用 / 鑑賞事業を重視した活動

- ・ 提携オーケストラ
- ・ 劇場連携
- ・ 民間プロモーター

などとの連携

事業内容

1. 芸術家ふれあい事業（音楽、演劇、ダンス）

レジデント・アーティスト（H26~R3・7年間）

音楽（36組）



仲道郁代（ピアノ）



金子三勇士（ピアノ）

演劇（4名）



内藤裕敬（演出家）
南河内万歳一座・主宰

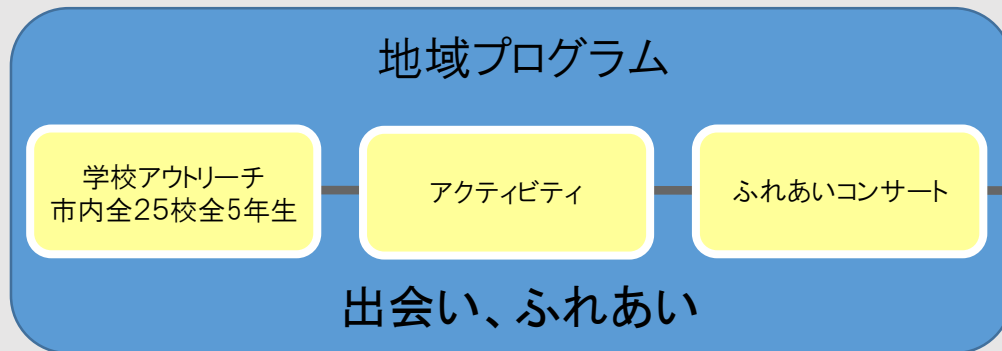
ダンス（6組）



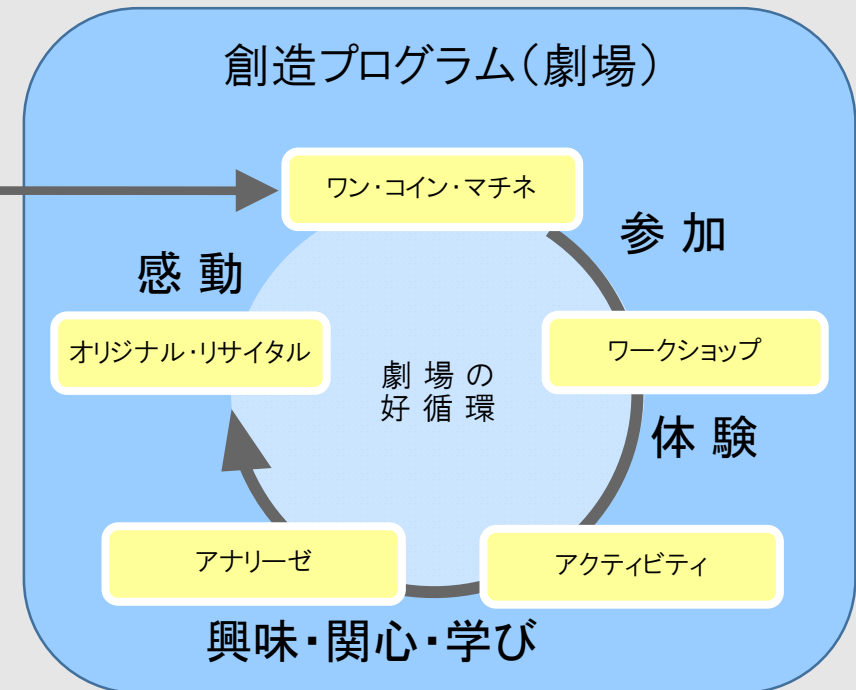
セレノグラフィカ

1. 芸術家ふれあい事業 (音楽)

音楽を好きになってほしい。



劇場を好きになってほしい。



事業内容

音楽事業 ～地域からホールへ～

小学校アウトリーチ



地域コンサート



オリジナル・リサイタル
ワン・コイン・コンサート



誰でも
参加
できる

多様な
活動

上田
オリジ
ナル

創造力

発想力

コミュニ
ケーション
力

多様な個性を
認め合う

その他にもアクティビティとして…

- ・ 高齢者福祉施設
- ・ 特別支援学校
- ・ 土曜日の保育園（親子企画）
- ・ 病院
- ・ 児童福祉施設
- ・ 民間企業

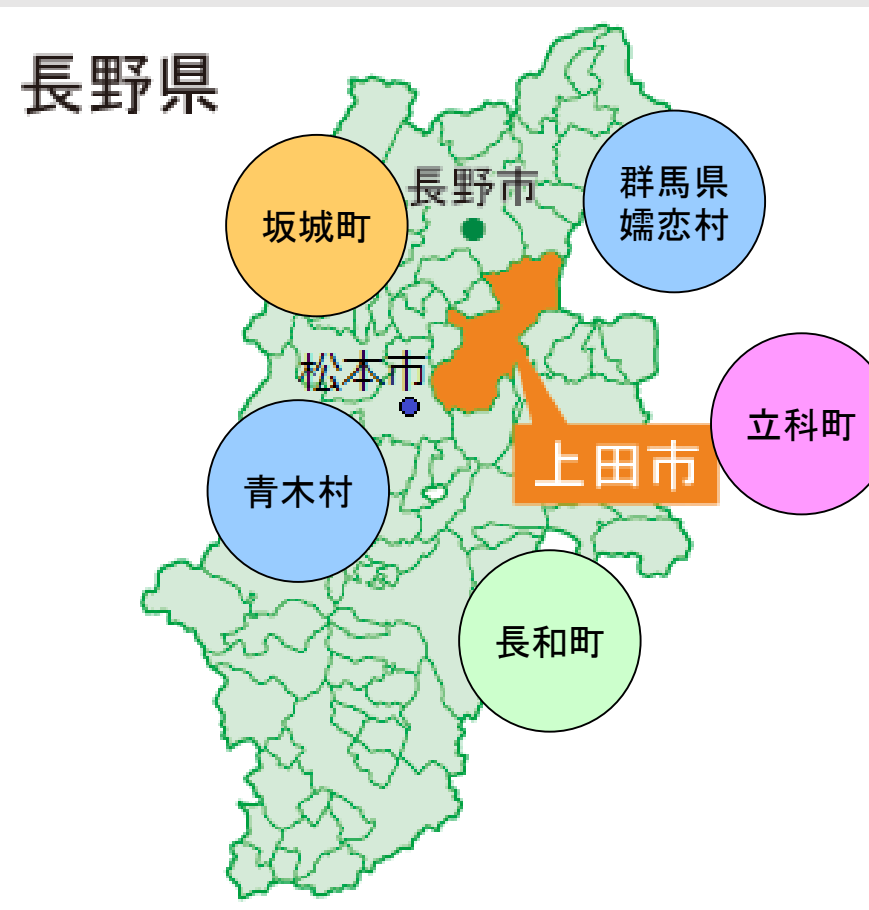
など

音楽事業 ～市内・広域連携～

市内 ～9つの中央公民館～

- ・ 中央公民館
- ・ 西部公民館
- ・ 神科豊殿公民館
- ・ 真田公民館
- ・ 城南公民館
- ・ 塩田公民館
- ・ 川西公民館
- ・ 丸子公民館
- ・ 武石公民館

広域 ～上田地域定住自立圏～



事業内容

1. 芸術家ふれあい事業（演劇、ダンス）

市民参加と創作
をテーマにした
2年間の滞在型活動

レジデント・カンパニー（1年目）

ワークショップ

市民参加型公演

出会い・ふれあい → 参加

レジデント・カンパニー（2年目）

ワークショップ

オリジナル創作公演

深める・学ぶ → 創作・発信

市民参加型公演

年度	カンパニー		作品
H26	演劇	南河内万歳一座	あらし
H27	ダンス	セレノグラフィカ	魔法のおしゃべり
H28	演劇	劇団太陽族	ここからは遠い国
H29	ダンス	鈴木ユキオ ほか	20のカラダの証
H30	演劇	MONO	尼ヶ淵スケッチ
R1	ダンス	北尾亘 ほか	ダブルビル
R2	演劇	岩井秀人	ワレワレのモロモロ(上田編)
R3	演劇	岩井秀人	おとこたち・きよこさん

創作公演

年度	カンパニー		作品
H27	演劇	南河内万歳一座	真田風雲録
H28	ダンス	セレノグラフィカ	とこしえに
H29	演劇	劇団太陽族	SUMAKO
H30	ダンス	鈴木ユキオ ほか	Roomer
R1	演劇	MONO	怠惰なマネキン
R2	ダンス	北尾亘	アンバランス
R3	ダンス	Aitneu	いいかえると
R4	演劇	岩井秀人	ワレワレのモロモロ2022
	ダンス	Aitneu	新作

1. 芸術家ふれあい事業 （演劇、ダンス）

高校生が創る実験的演劇工房

年度	作品	演出
H26	実験的演劇工房 1st.	岩崎正裕（劇団太陽族）
H27	劇絵本「どくりつこどもの国」	岩崎正裕（劇団太陽族）
H28	Q学	田上 豊（田上パル）
H29	夏の夜の夢	田上 豊（田上パル）
H30	ハレハレ。上田ver	守田慎之介（演劇関係いすと校舎）
R1	THIS IS ME	多田 淳之介（東京デスロック）
R2	Be with you	岩崎正裕（劇団太陽族）
R3	Keep the Face	岩崎正裕（劇団太陽族）

創作事業 ～市民参加型公演～

参加
する

表現
する

認め
合う



『魔法のおしゃべり』
セレノグラフィカ



『高校生が創る実験的演劇工房』 2nd 2015

劇絵本「どくりつこどもの国」

創作事業 ～プロデュース公演～

多様な
表現活動

発信



平成27年度プロデュース公演
『真田風雲録』



平成29年度プロデュース公演
Sumako ～ 或新劇女優探索記

創作と発信

上田市交流文化芸術センターでは、アーティスト・イン・レジデンス事業を通じて、様々な作品を創作しています。そして、その作品が全国へ発信され、多くの劇場で再演されています。

サントミュージーゼで創作

初演		作品	カンパニー／出演
H27	再演出	真田風雲録	南河内万歳一座
H27	新作	ロマン派症候群	内藤裕敬,仲道郁代 他
H28	新作	とこしえに	セレノグラフィカ
H28	再演出	Q学	田上豊
H29	新作	「Sumako」	劇団太陽族
H29-R3	新作	のだめ音楽会Pf版	高橋多佳子,菊池洋子 他
R2	新作	アンバランス	北尾亘
R3	再演出	いいかえると	アルトノイ



全国で再演

再演	劇場／主催者等	連携内容
H28	大阪芸術大学	舞台美術の提供
H29	仙台,豊田,大津,豊岡,雲南,北九州	全国ツアー
H29,30	旧K邸、アルカスSASEBO	作品連携
H30,R2	北九州芸術劇場,桜美林大学ほか	舞台美術の提供
H30	伊丹・アイホール	作品連携
H30～	(公財)かすがい市民文化財団	全国ツアー
R2	Baobab Re:Born Project Vol.2	全国ツアー
R3	まつもと市民芸術館	舞台データの提供

創作と発信 ～動画配信～

別所地域の観光
上田電鉄別所線とのコラボレーション



地域活性化センター
第1回ふるさと動画大賞
箭内道彦賞受賞

映画ロケ地めぐり



活動の可視化

施設内で活動の様子をお知らせする写真展示を常時行っています。



事業内容

まちなかアートプロジェクト



2. 連携・提携

大ホールの活用 / 鑑賞事業を重視した活動

- 群馬交響楽団 → 定期演奏会プログラム & 交流プログラム (提携オーケストラ)
- 新国立劇場 (バレエ団) → 本公演を定期的に開催 & 交流プログラム (連携協定)
- さいたま芸術劇場 → 芸術監督・蜷川幸雄氏の作品、若手演出家の作品
- 東京芸術劇場 → 大規模公演での連携
- パルコ劇場 → 大規模公演を年間2作品程度
- 民間プロモーター → 共催公演 など

魅力的
な公演

希少性

大ホール
の運営

持続可能な運営の視点

1. 各事業に複数のミッションを求める

手段を目的化させないために。

例：創作公演の場合

- ・ 質の高い作品
- ・ 役割へのアプローチ
- ・ 観客拡大
- ・ ファンドレイジングへの貢献
- ・ 他の事業への相乗効果 など

2. 顔が見える劇場を目指す。

- ・ 小規模音楽公演の広報宣伝費はほぼゼロ。代わりに地域プログラムを充実させている。
- ・ 地域の一員になる。劇場のファンづくり。活動の仲間づくり。

3. 10年目の成功を目指す。開館から5～8年間の投資が重要。

- ・ アイデア、工夫次第で、事業費を抑えつつ、様々な活動に取り組む。
- ・ 事業のシリーズ化で劇場の基盤となる固定観客の獲得
- ・ 劇場、民間プロモーターとの連携/協力
- ・ 活動の可視化
- ・ 幅広い世代に対応した観客とのコミュニケーションツールづくり
- ・ 事業評価に向けた情報やデータの蓄積
- ・ 「創作」「普及」「連携」は、助成金獲得のためにもとても重要なキーワード。

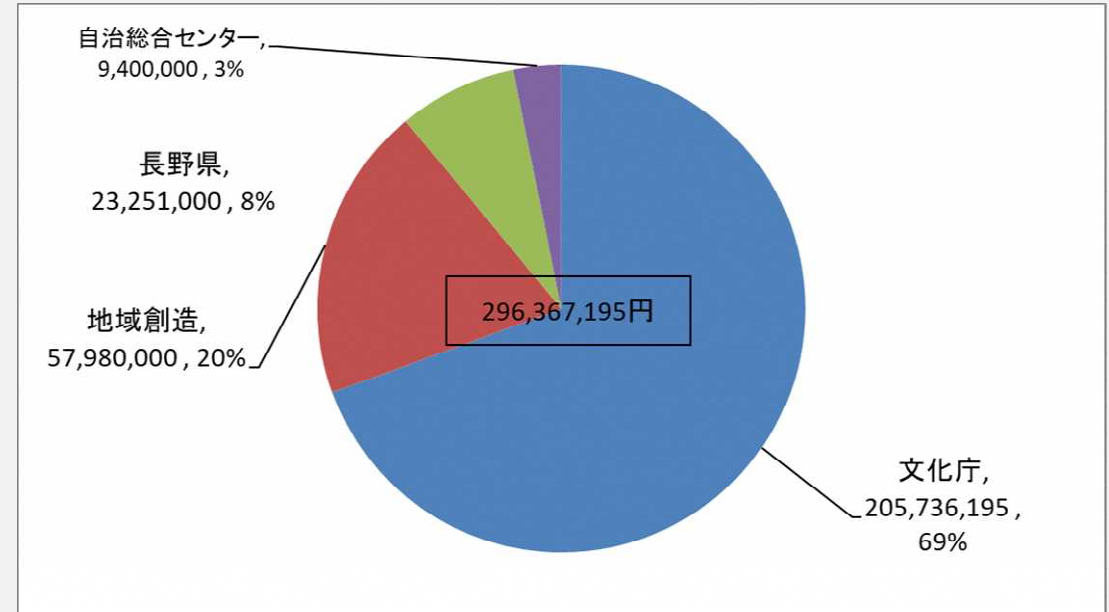
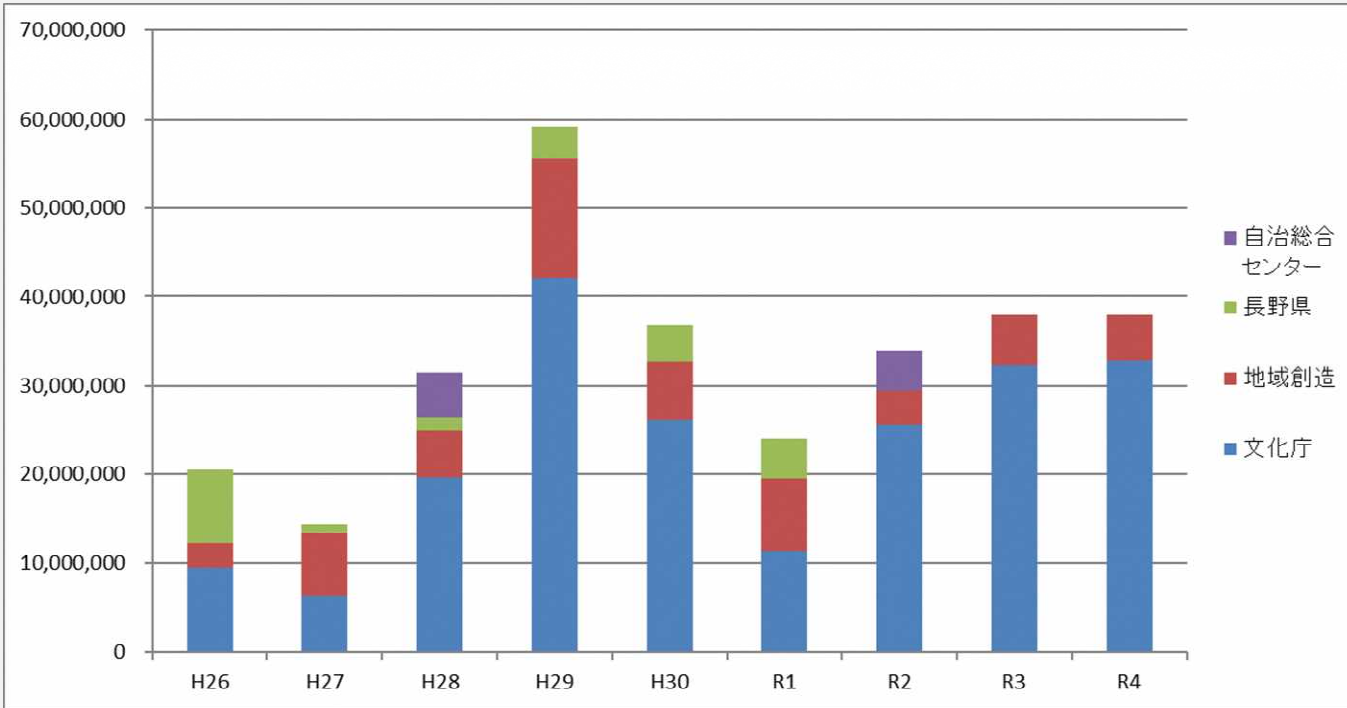
役割
の視点

鑑賞活動
拡大
の視点

ファン
レイジング
の視点

助成金の視点

H26~R4（9年間） 上田市交流文化芸術センターの実績（内定額）



助成金（交付額）と入場料収入のバランスの視点

平成30年度 上田市交流文化芸術センターの実績

※令和2年度 上田市交流文化芸術センター運営検証委員会 資料編より

収入の割合（平成30年度）

